

ナイキ ペガサス 42着用選手コメント(五十音順)

相澤晃選手(旭化成)

ペガサス 42はフィット感が増して、反発が前作よりさらに強くなっています。接地の際の安定感があるので、スムーズに反発がもらえ、推進力につながっていると感じます。土や芝生、トレッドミルでジョグをするときや、ウォーミングアップなど、様々なシーンで着用できるのも特徴のひとつです。一般ランナーの方にも、最初に履くナイキのランニングシューズとして安定感のあるペガサス 42をお勧めしたいです。

青木アリエ(日体大)

ペガサスは安定性とクッションのバランスが良く、どんな練習にも使いやすいところが気に入っています。また、カラーのパリエーションが豊富なのも好きな理由のひとつです。ペガサス 42は、前作よりも反発が感じやすく、スムーズに前に進む感覚があります。とても万能なシューズで、足への負担が少なく、スピード練習やジャンプトレーニングでも着用しています。

赤崎暁選手(クラフティア)

ペガサス 42は、前作に比べてクッション性と反発力がさらに増していて、しっかりと自分の足で地面をとらえて走ることができます。レース、ポイント練習前のアップや、1km4分くらいのペースのジョグや、テンポよく走りたい時に使用しています。一般ランナーの方でも、幅広いシチュエーションで履くことができるシューズだと思います。

石田洸介選手(SUBARU)

中学1年生から今に至るまで、ほとんどのペガサスシリーズを履き続けてきました。ペガサスの好きなところはオールマイティに練習に活用することができ、様々なペースで役立てる点です。新しいペガサス 42は前作よりも前足部のクッションが増し、反発と安定感、推進力、そしてシューズの軽量感のバランスが良いと感じました。ペガサスは、ロード、不整地を問わず色々な場所で活躍してくれますし、一般ランナーの方にとっても、普段のランニングはペガサス 42が1足あればほぼ全ての練習シーンに対応可能だと思います。初めてナイキを履いてみたい人にも履いてほしい一足です。

泉谷駿介選手(住友電工)

ペガサス42は、ジョグで愛用しており、前作よりもさらにクッション性が高まったと感じました。今までのペガサス シリーズ同様に癖がなく、オールラウンドに使えるシューズだと思います。スピードは出しやすいですが、自然な走りを引き出してくれるので、ランニング初心者からエリートランナーまで、幅広いランナーに薦められるシューズだと思います。

伊藤達彦選手(ホンダ)

ペガサス シリーズはクッション性や反発性がジョグに最適だと感じるので、ペガサス36から履いています。ペガサス 42に関しても、クッション性がよく、アップデートされた心地いい反発があるので気に入っています。安定感も併せ持ったバランスのいいシューズなので、普段の練習に欠かせません。

上山紘輝選手(住友電工)

ペガサス シリーズは、クッション性があって足に優しいですが、スピードも出しやすいので、ペガサス 33からずっと愛用しています。最新作のペガサス 42は推進力の強さをとても感じ、ソールの硬さもちょうど良く、とてもいい感覚で走ることができます。アップから、スパイクを履くまでのスピード練習でも活用しています。幅広いスピードと練習メニューに対応することができるシューズです。

小林歩選手(SUBARU)

毎朝のジョグでペガサス 42を着用しています。クッション性と反発性が両立しており、高い推進力を得られます。接地の際の足の抜け感と、弾む感覚がとても気に入っています。推進力と反発をより感じたい時のランニングに最適です。

小山直城選手(ホンダ)

新しいペガサス 42は、前のモデルよりも反発力があり推進力を感じることができるだけでなく、クッション性もあるので足への負担が少ないところも気に入っています。普段のジョグに加えて、トラックシーズンの、脚の筋力を鍛える練習でもこのシューズは活躍してくれます。接地感のあるシューズが好きなランナーや、脚を鍛えたい時におすすめできるシューズです。

佐藤圭汰選手

ペガサスは高校1年の時から継続的に履いていました。ペガサス 42はクッション性と安定感がこれまでのペガサスより向上しており、前作と比べてもさらに推進力が上がり、さらに反発も感じやすくなりました。全体として完成度が高く、より万能なシューズに進化したと思います。また、反発力がありながら安定感も優れているため、ジョグの延長で自然にスピードを上げられ、イーージージョグ後のストライドでも履き替えずにスピードを出せるのが特に気に入っています。長めのジョグやロングラン、ロードでのストライドなど、脚作りを目的とした練習で活用しています。シューズのバランスがいいので、一般ランナーの方にとっても、日々のジョグをしながら走力を上げたいときや、レースに向けて調子を上げていきたい場面で活躍するシューズだと思います。履きわけとしては、ポメロはワークアウト前のウォーミングアップや、ワークアウト翌日のイーージージョグなど、脚への負担を減らしたい場面で使用し、ペガサスはロングランや日々のジョグなどで使用し、脚作りや走力向上を目的としています。ペガサスは幅広いトレーニングに対応しながら、しっかり走力を伸ばしていけるシューズだと考えています。

佐藤早也伽選手(積水化学)

ペガサスは安定感があり、今までも練習で着用してきたシューズです。最新のペガサス 42は足へのフィット感が高まり、接地の際のブレが減ったことにより、さらに安定して走れるようになっています。また、反発のリターンがスムーズで推進力が高く、疲れにくいシューズです。フィット感、安定感、反発のバランスが素晴らしく、日々のジョグやクロカンなどで活躍してくれます。

菅野翔唯選手(東農大二高)

ペガサス 42は、程よいクッション性と反発力があり、特にスタート時に推進力を感じられます。クッション、反発、安定性のバランスが良く、クセがないので走りやすいです。毎日の練習で使いやすい汎用性の高いシューズです。

鈴木芽吹選手(トヨタ自動車)

高校生の頃からペガサスを履いていますが、ペガサス 42は前作と比べても、特にクッション性と推進力が増し、フィット感も良くなり、全体的にさらに進化しています。足入れをした瞬間に履き心地がいいと感じ、ホールド感もありとにかく履きやすいです。今までのペガサスシリーズと同様に、様々な場面で活用でき、ペースやレベルに関係なく全てのランナーにおすすめできるシューズだと思います。ペガサスはジョグでよく使うのですが、年々進化していて、バランスが良く色々な要素を兼ね備えているシューズだと思うので、練習するのが楽しくなるシューズです。

其田健也選手(JR東日本)

ペガサス 42は前作よりもクッション性と、反発が一目から感じられます。スピードが出しやすく、普段のジョグから距離走など、どんな練習でも活用が可能です。程よいクッション性と反発性があるので、ランニングを始めたばかりの人にもおすすめです。この一足があればいいと思える万能シューズです。

田澤廉選手(トヨタ自動車)

ペガサスシリーズは、ペガサス 33からずっと履いています。適度なクッション性と軽さが気に入っていて、脚を鍛えたい時に重宝しています。ペガサス 42では、前作よりさらにフィット感とクッション性が良くなっていると感じます。また、スピードが出しやすい上に、クッションが硬すぎないため、推進力も高く、とてもバランスが良いところも魅力です。さまざまなシューズを履き分けていて、ポメロは朝練用ジョグシューズ、ポメロ プレミアムはジョグやポイント終わりのダウン用、ヴェイパーフライ 4とストリークフライ 2はインターバル、ペガサス 42は距離走や快調走と言った感じで使い分けています。ペガサスは、一般ランナーの方も、もちろん普段のジョグで活用するだけでなく、目標がある方などの強化トレーニング(走り込み)などに特に活用してほしいです。

中島ひとみ選手(長谷川体育施設)

ペガサス 42は、安定していて扱いやすいので、ジョグから流しやテンポ走まで、スピードを意識した幅広い練習で着用しています。接地から前への流れがスムーズで、自然に推進力を得られる感覚があります。一般ランナーの方でも、ランニングを楽しみながら無理なく続けたい方や、日々のランニングや軽いジョグなど、リラックスして走りたい時におすすめできるシューズです。安定感と軽快さのバランスが良く、誰にとっても走りやすいシューズだと思います。

西山和弥選手(トヨタ自動車)

ペガサスはクッション性がありつつ、スピードが出しやすいので、大学時代から今に至るまで愛用しています。新しいペガサス 42は、今までのペガサスの良さはそのままに、クッション性がさらに増したので、足にやさしくスピードが出せるようになりました。距離走や、ペースの速いジョグに適していると思います。クッション性を確保しつつ、スピード感があり、操作性にも優れているシューズです。

服部弾馬選手(NTT西日本)

2018年に初めてペガサスを履いてからずっと愛用しています。ペガサス 42は、フィット感が前作からアップデートされていて、つま先部分にゆとりができたのですが、今まで通りホールドされている感覚があり、指が動かしやすく気に入っています。1km4分前後のペースのジョグで着用しています。前への推進力が高いので、テンポを早めたい時やスピードを出したい時にも活躍してくれます。スピードも出せてロング走もできるシューズなので、どの練習もオールマイティーにこなせます。スピードを出しながら接地感を感じて走りたいランナーにフィットすると思います。

廣中璃梨佳選手

新しいペガサス 42は、前作よりもクッション性が高く、軽さもあるので、足への負担が軽減されていると感じます。さらに、安定感があり、前に進みたい時にクッションと反発がうまく噛み合い、自然と足が出て進めるところが気に入っています。テンポのいいジョグやペース走、距離走まで、足の疲労を抑えながら、幅広いシチュエーションに対応してくれるシューズです。

坂東悠汰選手(富士通)

ペガサスには安定感があり、ロード、トラック、クロカンなど場所を選ばず着用できるので、練習の際はペガサスを軸にシューズの履き分けをしています。ペガサス 42に関しては、今までのペガサスと変わらない安定感がありながら、接地時のクッション性、反発が心地よいところが自分に合っています。また、程よいソールの硬さや、蹴り出しの際の推進力などもアップデートされたと感じます。多くのランナーにフィットするシューズだと思います。

土方英和選手(旭化成)

ペガサス 42の接地の際の安定感と、アッパーのフィット感が気に入っています。また、反発力も高く、スピードが出しやすい感覚もあります。日常のジョグなど、脚作りで活躍してくれます。

森凧也選手(ホンダ)

普段のジョグからロングラン、ウォーミングアップなど様々な場面でペガサス 42を活用しています。クッション性と反発力が強く、軽さもあるので、扱いやすい万能シューズです。特に前足部に体重を乗せた時に推進力を強く感じ、脚がしっかり進む感覚が気に入っています。練習に合わせたシューズの履き分には欠かせない一足です。

矢田みくに選手(エディオン)

ペガサス シリーズは9年ほど前からずっと履いているのですが、ペガサス 42は今までのペガサスの中で一番気に入っています。理由としては、つま先のカーブが大きくなり蹴り出しがスムーズに感じるところと安定感です。クッション性もありつつ、これまでより反発性が上がっているところもアップデートを感じます。ジョグやペース走など、様々なスピードの練習に対応可能で、幅広いシーンで着用できる一足です。

柳田大輝選手(ホンダ)

大学時代から、ウォーミングアップからスプリントまで、あらゆる場面でペガサスを着用してきました。最新のペガサス 42は、着用感がスパイクに近くなり、クッション性がありながらも、よりスプリント動作を行いやすくなりました。軽いジョギングから100%に近いスプリントまでこの1足で対応できるので、練習で走る際はほとんどペガサス 42を履いています。安定感がありながらも、スピードを求めることができる必要不可欠なシューズです。

山下一貴選手(三菱重工)

ペガサス シリーズは2016年ごろから着用しています。ナイキのシューズを履くなら、まずはペガサスというイメージがあるくらい、癖がなく使いやすいシューズです。ペガサス 42は、前作より柔らかく、クッション性が増したことで足への負担が少なくなったと感じます。さらに、クッションが増したことによる不安定さを感じることもありません。練習では、少し快調に走るジョグやアップで活用しています。初めてシューズを選ぶ方は、まずペガサスに足を通して、ペガサスを基準にして欲しいと思うくらいバランスのいいシューズです。

吉田祐也選手(GMO)

ペガサスは日常の練習の中心で、最も着用頻度の多いシューズです。新しいペガサス 42は、足を入れた瞬間のフィット感がよりアップデートされた印象があり、実際に走ってみると、前足部のクッション性が高まり、着地から蹴り出しまでの流れがスムーズになったと感じます。全体として軽さと扱いやすさがありながら、しっかり前に進める感覚もあるので、ジョグから、トレーニングまで、日々の練習で活躍します。また、推進力が程良く、無理なく自然に走れるので、疲労を強く残したくない日の練習でも活躍してくれる万能シューズです。多くのランナーにとって扱いやすく、毎日のランを支えてくれる一足だと思います。